



平成29年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月13日

上場会社名 株式会社アドテック プラズマ テクノロジー
コード番号 6668 URL <http://www.adtec-rf.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 修逸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理部長 (氏名) 中山 浩之

TEL 084-945-1359

定時株主総会開催予定日 平成29年11月28日 配当支払開始予定日

平成29年11月29日

有価証券報告書提出予定日 平成29年11月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期	7,218	35.8	1,486	693.7	1,512		1,135	
28年8月期	5,313	10.6	187	64.4	129	79.6	28	93.6

(注) 包括利益 29年8月期 1,141百万円 (%) 28年8月期 87百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年8月期	132.30		33.3	21.4	20.6
28年8月期	3.32		1.0	2.0	3.5

(参考) 持分法投資損益 29年8月期 百万円 28年8月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期	7,753	3,990	51.4	463.81
28年8月期	6,394	2,883	44.4	330.70

(参考) 自己資本 29年8月期 3,981百万円 28年8月期 2,838百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年8月期	852	141	179	1,859
28年8月期	290	73	47	1,289

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年8月期		2.00		2.00	4.00	34	120.6	1.2
29年8月期		2.00		4.00	6.00	51	4.5	1.5
30年8月期(予想)		3.00		3.00	6.00		6.1	

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	13.5	655	8.6	645	3.0	416	14.4	48.47
通期	7,424	2.8	1,309	11.9	1,303	13.8	850	25.1	99.13

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期	8,586,000 株	28年8月期	8,586,000 株
期末自己株式数	29年8月期	2,040 株	28年8月期	2,000 株
期中平均株式数	29年8月期	8,583,986 株	28年8月期	8,584,000 株

(参考)個別業績の概要

平成29年8月期の個別業績(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期	6,103	52.3	1,223	192.7	1,188	364.8	873	468.5
28年8月期	4,008	2.7	418	14.9	255	49.7	153	27.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期	101.71	
28年8月期	17.89	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期	5,071	3,259	64.3	379.74
28年8月期	3,875	2,416	62.3	281.50

(参考) 自己資本 29年8月期 3,259百万円 28年8月期 2,416百万円

決算短信は監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不安定要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成29年10月23日に証券アナリスト向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(連結損益計算書に関する注記)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資・個人消費が堅調に推移し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

世界経済におきましては、米国は設備投資・個人消費の増加により回復基調で推移し、欧州は設備投資・個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済環境のもと、半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、スマートフォン等のディスプレイ向け成膜装置メーカー、フラッシュメモリー需要等による半導体製造装置の投資が好調に推移いたしました。

また、ステリプラス（プラズマによる非接触局所殺菌用医療装置）は、第2四半期連結会計期間においてドイツの医療機関へ出荷し、引き続き展示会への出展等を行い受注獲得の活動を展開いたしました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、官公庁向けの需要は低調に推移し今後の回復も見込めないことから、新市場開拓のための新製品開発に注力いたしました。

この結果、当社グループの当連結会計年度における業績は、売上高7,218,536千円（前期比35.8%増加）、営業利益1,486,003千円（前期比693.7%増加）、経常利益1,512,474千円（前期比1,065.3%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益1,135,643千円（前期比3,887.8%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、売上高6,390,344千円（前期比50.9%増加）、営業利益1,585,834千円（前期比362.8%増加）となりました。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、売上高828,192千円（前期比23.2%減少）、営業損失99,757千円（前期は営業損失155,199千円）となりました。

当連結会計年度の業績は、次のとおりであります。

単位：千円

項目	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
売上高	5,313,621	7,218,536
売上総利益	1,733,020	3,035,809
営業利益	187,220	1,486,003
経常利益	129,789	1,512,474
親会社株主に帰属する当期純利益	28,477	1,135,643

単位：千円

項目	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)		当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
半導体・液晶関連事業（当社等）	4,234,680	342,677	6,390,344	1,585,834
研究機関・大学関連事業（IDX）	1,078,941	△155,199	828,192	△99,757
合計	5,313,621	187,478	7,218,536	1,486,076

注1. 売上高は、各セグメントの外部顧客に対する売上高を表しております。

2. 営業利益は、各セグメントの営業利益又は営業損失（△）を表しております。

(注) 文中表記について

(当社等)

当社、Adtec Technology, Inc.、Adtec Europe Limited、Phuc Son Technology Co., Ltd.、Hana Technology Co., Ltd.、愛笛科技有限公司及び蘇州啐啄電子有限公司を表しております。

(IDX)

株式会社IDXを表しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は7,753,239千円であり、前連結会計年度末と比較して1,358,904千円増加しております。

これは、現金及び預金の増加(578,767千円)、受取手形及び売掛金の増加(406,337千円)、原材料及び貯蔵品の増加(242,589千円)等によるものであります。

当連結会計年度末の負債合計は3,762,786千円であり、前連結会計年度末と比較して251,797千円増加しております。

これは、未払法人税等の増加(281,129千円)、短期借入金の増加(158,640千円)、長期借入金の減少(247,904千円)等によるものであります。なお、当連結会計年度末における有利子負債残高は2,785,571千円であります。

当連結会計年度末の純資産合計は3,990,452千円であり、前連結会計年度末と比較して1,107,107千円増加しております。

これは、利益剰余金の増加(1,101,307千円)等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して569,967千円増加し、当連結会計年度末は1,859,749千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、852,406千円(前連結会計年度は290,762千円の獲得)となりました。

これは、税金等調整前当期純利益1,481,168千円及び減価償却費147,409千円等の資金増加要因、売上債権の増加額398,769千円及びたな卸資産の増加額178,478千円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、141,334千円(前連結会計年度は73,464千円の使用)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出93,773千円及び無形固定資産の取得による支出46,329千円等の資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、179,152千円(前連結会計年度は47,053千円の獲得)となりました。

これは、短期借入金の純増加額158,640千円、長期借入れによる収入140,000千円等の資金増加要因、長期借入金の返済による支出423,060千円等の資金減少要因によるものであります。

【キャッシュ・フローの指標トレンド】

	平成26年8月期	平成27年8月期	平成28年8月期	平成29年8月期
自己資本比率(%)	39.2	44.7	44.4	51.4
時価ベースの自己資本比率(%)	377.4	113.7	49.8	200.0
債務償還年数(年)	20.7	4,265.3	10.1	3.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	5.9	0.0	11.2	35.1

注1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算定しております。

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産
 債務償還年数 : 有利子負債 / 営業活動によるキャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業活動によるキャッシュ・フロー / 利払い

(4) 今後の見通し

半導体・液晶関連事業（当社等）におきましては、タッチパネル等の成膜装置メーカーの設備投資は引き続き堅調に推移し、フラッシュメモリー需要による半導体製造装置の投資も見込まれます。

このような状況の中、当社等は海外生産（ベトナム・韓国）を整備し納期及びコスト削減に取り組むとともに、今後拡大が見込まれる中国市場のサービス体制を充実し顧客サポートの強化に努めます。

研究機関・大学関連事業（IDX）におきましては、新製品の開発を進め市場開拓や顧客獲得を進めるとともに、コスト削減への取り組みなど企業体質の改善に努めてまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しております。安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に配慮しつつ、配当につきましては、継続的な安定配当を基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後の財務体質の強化及び市場ニーズに応える製品開発等、積極的に投資し、業況の拡大に努めてまいり所存であります。

平成29年8月期の期末配当金につきましては、1株につき4円を予定しております。中間配当金は、1株につき2円実施させて頂いておりますので、年間配当金は、1株につき6円となります。

平成30年8月期の配当の予想につきましては、現時点では6円（うち、中間配当にて3円）を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を採用しており、国際会計基準への変更は検討しておりませんが、国際会計基準の動向については、情報収集に努めてまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当連結会計年度 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,452,582	2,031,349
受取手形及び売掛金	1,299,461	1,705,799
製品	483,865	425,077
仕掛品	468,738	478,137
原材料及び貯蔵品	1,095,200	1,337,790
前払費用	40,814	64,397
繰延税金資産	15,909	52,849
未収入金	102,487	240,312
その他	18,394	16,174
流動資産合計	4,977,455	6,351,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,521,042	1,508,044
減価償却累計額	△840,695	△894,238
建物及び構築物（純額）	680,347	613,806
車両運搬具	36,578	37,437
減価償却累計額	△29,416	△32,985
車両運搬具（純額）	7,162	4,451
工具、器具及び備品	905,484	944,310
減価償却累計額	△669,809	△703,381
工具、器具及び備品（純額）	235,674	240,928
土地	363,670	363,670
有形固定資産合計	1,286,854	1,222,857
無形固定資産	31,766	69,326
投資その他の資産		
投資有価証券	33,024	39,453
その他	80,072	84,166
貸倒引当金	△14,840	△14,455
投資その他の資産合計	98,256	109,165
固定資産合計	1,416,878	1,401,349
資産合計	6,394,334	7,753,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当連結会計年度 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,238	266,478
短期借入金	1,410,000	1,568,640
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	376,670	341,514
未払金	98,202	148,298
未払費用	69,123	89,497
リース債務	575	—
未払法人税等	68,862	349,991
その他	53,435	33,067
流動負債合計	2,304,108	2,817,488
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	1,103,321	855,417
繰延税金負債	7,304	8,259
退職給付に係る負債	4,483	7,939
資産除去債務	65,842	66,990
その他	5,930	6,692
固定負債合計	1,206,881	945,298
負債合計	3,510,989	3,762,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	835,598	835,598
資本剰余金	908,160	908,160
利益剰余金	1,145,722	2,247,029
自己株式	△384	△447
株主資本合計	2,889,096	3,990,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,234	7,909
為替換算調整勘定	△53,585	△16,886
その他の包括利益累計額合計	△50,351	△8,977
非支配株主持分	44,599	9,088
純資産合計	2,883,344	3,990,452
負債純資産合計	6,394,334	7,753,239

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
売上高	5,313,621	7,218,536
売上原価	3,580,600	4,182,726
売上総利益	1,733,020	3,035,809
販売費及び一般管理費	1,545,800	1,549,806
営業利益	187,220	1,486,003
営業外収益		
受取利息	1,317	1,500
受取配当金	460	490
為替差益	—	9,011
受取手数料	38,098	8,912
補助金収入	44,687	14,700
受取家賃	13,362	12,814
その他	3,147	18,908
営業外収益合計	101,074	66,337
営業外費用		
支払利息	26,186	24,492
為替差損	111,859	—
減価償却費	8,163	6,608
その他	12,295	8,764
営業外費用合計	158,505	39,866
経常利益	129,789	1,512,474
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,179
特別利益合計	—	6,179
特別損失		
固定資産除却損	—	9,922
減損損失	—	27,563
特別損失合計	—	37,485
税金等調整前当期純利益	129,789	1,481,168
法人税、住民税及び事業税	110,624	418,805
法人税等調整額	32,157	△37,768
法人税等合計	142,782	381,037
当期純利益又は当期純損失(△)	△12,992	1,100,131
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△41,469	△35,512
親会社株主に帰属する当期純利益	28,477	1,135,643

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△12,992	1,100,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,645	4,675
為替換算調整勘定	△66,345	36,698
その他の包括利益合計	△74,990	41,373
包括利益	△87,983	1,141,505
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△46,513	1,177,017
非支配株主に係る包括利益	△41,469	△35,512

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	835,598	908,160	1,151,580	△384	2,894,955
当期変動額					
剰余金の配当			△34,336		△34,336
親会社株主に帰属する 当期純利益			28,477		28,477
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△5,858	－	△5,858
当期末残高	835,598	908,160	1,145,722	△384	2,889,096

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	11,879	12,759	24,639	86,071	3,005,666
当期変動額					
剰余金の配当					△34,336
親会社株主に帰属する 当期純利益					28,477
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△8,645	△66,345	△74,990	△41,471	△116,462
当期変動額合計	△8,645	△66,345	△74,990	△41,471	△122,321
当期末残高	3,234	△53,585	△50,351	44,599	2,883,344

当連結会計年度（自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	835,598	908,160	1,145,722	△384	2,889,096
当期変動額					
剰余金の配当			△34,336		△34,336
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,135,643		1,135,643
自己株式の取得				△62	△62
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	1,101,307	△62	1,101,244
当期末残高	835,598	908,160	2,247,029	△447	3,990,341

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	3,234	△53,585	△50,351	44,599	2,883,344
当期変動額					
剰余金の配当					△34,336
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,135,643
自己株式の取得					△62
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	4,675	36,698	41,373	△35,511	5,862
当期変動額合計	4,675	36,698	41,373	△35,511	1,107,107
当期末残高	7,909	△16,886	△8,977	9,088	3,990,452

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	129,789	1,481,168
減価償却費	154,096	147,409
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△420	△385
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,172	3,767
受取利息及び受取配当金	△1,777	△1,990
支払利息	26,186	24,492
為替差損益 (△は益)	148,854	△36,671
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△6,179
固定資産除却損	—	9,922
減損損失	—	27,563
売上債権の増減額 (△は増加)	△185,715	△398,769
たな卸資産の増減額 (△は増加)	187,439	△178,478
その他の資産の増減額 (△は増加)	△32,081	△27,724
仕入債務の増減額 (△は減少)	48,964	51,282
その他の負債の増減額 (△は減少)	23,286	88,373
未払消費税等の増減額 (△は減少)	31,748	△129,225
小計	533,544	1,054,554
利息及び配当金の受取額	1,266	1,749
利息の支払額	△28,425	△24,572
法人税等の支払額	△215,622	△179,325
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,762	852,406
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△9,600	△8,800
有形固定資産の取得による支出	△62,485	△93,773
無形固定資産の取得による支出	△3,626	△46,329
投資有価証券の売却による収入	—	6,179
その他	2,248	1,389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,464	△141,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	405,000	158,640
長期借入れによる収入	200,000	140,000
長期借入金の返済による支出	△512,673	△423,060
社債の償還による支出	△10,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△1,381	△575
自己株式の取得による支出	—	△62
配当金の支払額	△33,892	△34,094
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,053	△179,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	△127,468	38,047
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	136,882	569,967
現金及び現金同等物の期首残高	1,152,900	1,289,782
現金及び現金同等物の期末残高	1,289,782	1,859,749

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(連結損益計算書に関する注記)

(減損損失)

前連結会計年度(自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)

当連結会計年度において、当社グループは資産について27,563千円の減損損失を計上しております。内訳は次のとおりであります。

場所	用途	種類	金額(千円)
英国ロンドン市	事業用資産	工具、器具及び備品	27,563

当社グループは、原則として事業用資産については報告セグメントを基礎に資産のグルーピングを行い、遊休資産については各物件毎にグルーピングしております。

英国ロンドン市の事業用資産につきましては、連結子会社であるAdtec Europe Limitedの営業損益が悪化しており、今後の業績見込みも不透明であるため、回収可能価額をゼロと見積り、減損損失として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業の種類別に基づき、「半導体・液晶関連事業」及び「研究機関・大学関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

セグメントの名称	主要製品
半導体・液晶関連事業	高周波電源、マッチングユニット
研究機関・大学関連事業	直流電源

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日）

単位：千円

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大 学関連事業	合計	調整額 (注1、3)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	4,234,680	1,078,941	5,313,621	—	5,313,621
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,132	19,331	28,464	△28,464	—
計	4,243,813	1,098,272	5,342,085	△28,464	5,313,621
セグメント利益又は損 失(△)	342,677	△155,199	187,478	△257	187,220
セグメント資産	4,377,594	2,071,945	6,449,540	△55,205	6,394,334
その他の項目					
減価償却費	72,425	81,601	154,027	69	154,096
支払利息	9,749	16,436	26,186	—	26,186

注1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△257千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額△55,205千円は、セグメント間取引消去等であります。

4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度（自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日）

単位：千円

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大 学関連事業	合計	調整額 (注1、3)	連結財務諸表 計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	6,390,344	828,192	7,218,536	—	7,218,536
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,623	11,406	15,029	△15,029	—
計	6,393,968	839,598	7,233,566	△15,029	7,218,536
セグメント利益又は損 失(△)	1,585,834	△99,757	1,486,076	△73	1,486,003
セグメント資産	5,953,918	1,850,152	7,804,070	△50,831	7,753,239
その他の項目					
減価償却費	78,889	68,340	147,230	179	147,409
支払利息	8,070	16,421	24,492	—	24,492

- 注1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△73千円は、セグメント間取引消去であります。
 注2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 注3. セグメント資産の調整額△50,831千円は、セグメント間取引消去等であります。
 注4. セグメント負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度（自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単位：千円

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計
外部顧客への売上高	4,234,680	1,078,941	5,313,621

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

単位：千円

日本	米国	アジア地域 (日本を除く)	欧州	その他	合計
3,934,831	376,325	821,178	181,201	84	5,313,621

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

単位：千円

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社日立ハイテクノロジーズ	552,353	半導体・液晶関連事業 研究機関・大学関連事業

当連結会計年度(自平成28年9月1日至平成29年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単位：千円

	半導体・液晶関連事業	研究機関・大学関連事業	合計
外部顧客への売上高	6,390,344	828,192	7,218,536

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

単位：千円

日本	米国	アジア地域 (日本を除く)	欧州	その他	合計
5,450,152	650,585	938,533	179,135	129	7,218,536

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

単位：千円

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社オプトラン	1,301,092	半導体・液晶関連事業
理研電線株式会社	882,724	半導体・液晶関連事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

単位：千円

	半導体・液晶 関連事業	研究機関・大学 関連事業	全社・消去	合計
減損損失	27,563	—	—	27,563

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
1株当たり純資産額	330円70銭	463円81銭
1株当たり当期純利益金額	3円32銭	132円30銭

注1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	28,477	1,135,643
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	28,477	1,135,643
期中平均株式数 (株)	8,584,000	8,583,986

(重要な後発事象)

該当事項はありません。